

箱根町水道事業運営協議会議事録

主席者

委員：安藤雅章、北野谷克美、酒寄勝男、松井弘子、岡部 郷、中武朝子

町側：町長、瀬戸環境整備部長、矢田副課長、勝俣技幹、芳澤主幹、座間副技幹、
神河主任主事

進行区分	内 容
司 会	箱根町水道事業運営協議会を開催します。 開会にあたりまして、山口町長よりごあいさつ申し上げます。 (町長あいさつ、) (司会進行、町長退席) (委員自己紹介) (町職員紹介)
町	委員の過半数の出席者により、会議が成立することとなっております。本日は委員6名の方々に出席をいただいておりますので、本日の会議は成立していることをご報告申し上げます。 議題1、会長及び副会長の選出について 資料箱根町水道事業運営協議会条例第4条第1項に協議会に会長及び副会長を各1人置き、第2項には、委員の互選によって定められるとされておりますので、ご意見をいただきたいと思っております。
委員 町	安藤さんを推薦いたします。 ただ今、安藤さんを指名推薦という意見がございましたが、他に意見はございますか。 (異議なし) ただ今、指名推薦のあった安藤委員さんを会長にすることに賛成の方は、挙手をお願いいたします。 (全員賛成) 全員賛成ということですので、安藤委員さんに会長をお願いいたします。 (安藤会長、就任あいさつ、会長議事進行)
会 長	箱根町水道事業運営協議会条例第4条第3項の規定により副会長は、委員のうちから会長が任命することになっておりますが、北野谷委員さんをお願いしたいと思っておりますがいかがでしょうか。 (異議なし) 北野谷さんに副会長をお願いいたします。 (北野谷副会長、就任あいさつ) 議題2、平成24年度箱根町水道事業執行状況について、町側から説明をお願いします。 (町から内容説明後、質疑に入る)
委 員	執行状況支出の1ページ目、営業外費用、雑支出ですが、決算見込み額が予算よりも金額がかなり多いのには、特別な理由があるのでしょうか。
町	予算1,270千円に対し、決算見込み額が5,252千円と、かなり予算額を上回っております。これは不納欠損を考えております。今年度、規則の一部を改正しました。以前からお話しておりますが、倒産等をしてお金が取れない未収金は何百万円かございます。倒産をしても5年間

進行区分	内 容
	<p>は不納欠損できないものがあります。水道料金は種類から言いますと私債権となりまして、税金とは時効の期間が異なっております。私債権の時効は2年ですが、今までの規則では5年になっておりましたので、2年に改正いたしました。その結果、それに関係するものを今回の決算で5百万円ほどの金額を不納欠損させていただきたく、決算見込み額に載せさせていただいているものでございます。実際に3月末の決算を打ってからでなければ、細かい事は申しあげられないのですが、純利益と収益の兼ね合いを見ながら、また、予算金額を考慮しながら、決算の際にはきちんとした不納欠損額をご提示できると思います。</p>
委員	<p>同ページ営業収益 給水収益、その他営業収益ですが、こちらは予算よりかなり少なくなっているようですが、その理由は为什么呢。</p>
町	<p>給水収益につきましては、10月末までの実績を見まして、昨年度の決算金額に近いものを載せさせて頂いております。震災前の平成22年度と比べると、まだそこまでしっかりと回復しておりません。ただ、直近の集計では、このお正月等で観光客が少し増えたせいか、1月には少々上向きになっておりますが、10月末までは厳しい数字がでておりました。全体的には業務用のホテル・旅館等の水量が伸び悩んでおります。家庭用等については、ほとんど変化ありません。また、業務用に関しましては、自己水に切り替えているお客様が増えております。特に旅館等は、自己水と町の水道を併せて使用している方がいるので、一概には観光客が戻っていないと言えるものではありませんが、水道料金としては、震災前の平成22年度ほどの収入は見込めないということで、予算より減らざるを得なかったものです。</p> <p>その他営業収益は、大きいものは加入金になりますが、加入金は、開発があるか、家の建て替え等でメーターの口径が大きくなるか等の見越しだったのですが、そちらの方が予算より少なくなるのではと予測しております。</p>
会長	<p>企業会計は3月31日で締めると思うのですが、今年は3月30日が土曜日、31日が日曜日ですね。その影響というのはないものでしょうか。</p>
町	<p>平成24年度の収入といたしましては、調定金額が予算に対しての収入と見込めるものがございます。しかし、現金が水道事業会計の中にあるかどうかになりますと、31日は銀行が閉まっている状態ですので、未収金が若干増えるのではないかと考えられます。</p>
会長	<p>未収金で処理をするというわけですか。</p>
町	<p>そのとおりでございます。</p>
委員	<p>3ページ目、執行状況の一般建設改良事業ですが、全体の予算額と決算見込み額の金額に差はほとんどありませんが、大平台第2配水池工事監理委託と葛原浄水場急速ろ過池制御装置更新工事には、元々予算がついていないのに、工事費が支出されていますね。これは何故ですか。</p>
町	<p>大平台第2配水池工事監理委託の内容ですが、今年度、大平台第2配水池耐震補強工事という事で、配水池の耐震補強と、来年度予定してい</p>

	<p>る紫外線照射設備を入れるため、現在、配水池の上に建屋を作っております。その関係で、建築確認申請を取りまして工事を施工しているわけですが、建築士法に、建築物の場合、延べ面積が 30 平米を超えると、建築士の資格を持った人間が工事監理をしなければならないという法律があります。水道には、建築士の資格を持っている職員がおりません。耐震補強工事、紫外線照射設備の建屋は、富洋設計(株)に設計委託をしましたので、そこに工事現場監理委託をお願いしたもので、当初予算にそれは見込んでいなかったものですが、先に述べた理由により執行したものです。</p>
町	<p>葛原浄水場急速ろ過池制御装置更新工事ですが、この施設では砂を入れて、その砂の中に浄化されていない水を通して、それを砂でろ過する設備があります。葛原浄水場は、昭和 46 年に建設されたもので、既に 41 年経過しております。この施設は、ろ過を行うために、制御装置を設置し、常時、砂の中にゴミが溜まらないように機械的に洗浄をかけて維持しております。今回その装置が急に洗浄をしなくなった為、急遽調査を行ったところ、制御装置のユニットが壊れて、制御できなくなっていたものです。借り措置として機械を切り替えたりしながら使用していたのですが、皆さまに供給する大切な水で、何かあってはいけませんので、本来は来年度の砂の入れ替えと同時に整備を行いたかったのですが、制御装置だけを前倒しで、今年度の工事執行残を使わせていただき、急遽工事を行ったものです。</p>
委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>もう 1 点、同ページ 遠方監視装置更新詳細設計委託ですが、予算額と執行額に差がありますね。入札だから仕方がない事だとは思いますが、実質、60.8%くらいですよ。予算を作成した時の仕様と出来上がりの仕様、これに変化というか、仕様とは違うところはなかったでしょうか。</p>
町	<p>遠方監視装置更新詳細設計につきましては、前年度に基本設計委託をしております。その際は今回以上に予算額と落札額に差がでてしまったので、適正にできているか目を見張っております。また、随時ミーティングを行って、管理をしっかり行いました。平成 24 年度は、前年と業者が変更となり、先般、こちらの完成検査を行いました。製品、性能、仕様と満足するものに出来上がっております。</p> <p>このような委託関係は、落札額の開きが現状としてでているのが実態です。</p>
会長	<p>議題 3、平成 25 年度箱根町水道事業会計予算(案)について、町側から説明をお願いします。</p> <p>(町から内容説明後、質疑に入る)</p>
委員	<p>11 ページ 塔之澤地区配水管布設工事計画書で、函嶺洞門のバイパス工事がありますが、これは町だけでやっているものでしょうか。</p>
町	<p>神奈川県小田原土木の方で、函嶺洞門のバイパス工事を行っております。現在、新しくできた橋が 2 つ架かっております。箱根町としては、その橋に添架して水道管を布設していく作業を順次進めている状況です。占有者としては、東京電力、N T T、ガス、町の全ての占有者がその橋に添架していくような形になっております。この国道には町営水道</p>

	<p>の管が入っておりません。旭橋、新旭橋と2本並んで橋が架かっているその袂に旅館がありますが、その角までしか町営水道の管は入っておりません。塔之澤地区の給水につきましては、その先の千歳橋まで持っていく計画です。それと、2本架かっている橋の間に、今度公衆トイレができる計画がありますので、そこに持っていくための水道管を整備していくのが、平成25年度の事業として計画しているものです。</p>
委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>もう1点、今、大涌谷を震源とする地震がありますが、災害の際の緊急対策というのは、考えていただけますか。</p>
町	<p>大地震を想定したマニュアルは作成済みです。そのマニュアルの中では、水の供給に重きを置いております。</p> <p>箱根町には指定配水池が5か所ありまして、地震があった際は、配水池に設置してあります緊急遮断弁が落ちて、各指定配水池に水を残せるようになっております。また、各指定配水池には、発電機、水中ポンプ、投光器、非常用のタンク等、配水池に来れば、皆さんに水をお配りできるようになっております。約3日間はその地域で使える水をタンクに溜めてありますので、その3日以降については、自衛隊の支援を求める事、また破損した配水管を直していくというような形になるのではないかと思います。まずは供給する水の準備をと考えております。</p>
委員	<p>引き続きよろしいでしょうか。</p> <p>大涌谷で震度5以上の地震が最近ありますが、水道管の破裂等はどうですか。</p>
町	<p>大涌谷周辺は町営水道ではなく、県営水道ですので…</p>
委員	<p>そうですね。仙石はどうですか。かなり揺れるでしょう。</p>
委員	<p>水道管が破裂したとか、そのような話は聞いてないですね。</p>
会長	<p>防災課では防災計画をたてていますが、水道の方はどうですか。インフラの整備、特に箱根町の場合は地域が分断されるでしょうし、水源も分散していますよね。そういう時の対応はどうですか。そういう際は方々で施設等が破損しますよね。あちらも、こちらも対応しなければいけない状況になるかと思います。課でそういう時のマニュアルの作成があるのか、地域別で業者に委託して専属で頼んでいるのか、配水池、水源、浄水施設、そういった構造物が壊れたときのインフラの整備というのは、相当かかると思うので、町の基本的な考え方を教えていただきたいのですが。</p>
町	<p>マニュアルについては、町の防災計画が主体となって、水道はその配下として、マニュアルを作成しております。5か所の指定配水池に誰が向かうか、各所への連絡・放送・伝達、限られた人数の中で割り振りをして作成をしております。町の防災組織と連携をとって、地域分散型で配置されますので、その職員の中で協力を得ながらマニュアルに沿って、対応していく考えでおります。</p> <p>構造物については、5か所の指定配水池は耐震補強工事を行っておりますので、地震に強い構造となっております。指定配水池になっていない</p>

	<p>所は、耐震工事がなされていない所がありますが、主たる所は済んでおります。</p> <p>また、配管の修理は地元との連携が重要であります。防災訓練も一緒に行っております箱根管工事協同組合と緊急時の協定を結んでおりますので、連携して修理にあたりたいと思っております。小田原市や企業庁との連携ですが、双方、連絡管を持っておりますので、震災時には連絡管を使って対応していきたいと考えております。</p>
会 長	<p>当面の水は5か所の指定配水池から確保できる事がわかりましたが、それから復旧作業に入った場合、施設が方々で壊れている場合は、非常に時間がかかるのではないかと心配があります。1つの組織だけで完全にできればいいですが、各担当部局が対応して、ある程度の計画や考え方を作っておいてもらえるのが1番いいのではないかと思います。1週間前後で解決するものはいいいですが、それ以降の復旧作業に関しての問題で、恐らく箱根の場合は道路がほぼ分断されてしまうので、地域が孤立してしまうのではないかと思いますので。</p>
委 員	<p>先ほど自衛隊が援助してくれのではないかと話がありました。自衛隊は御殿場から来る可能性が大きいのでしょうか。</p>
町	<p>防災訓練を通じて練習しておりますので、そういう形で救援を求めることになると思います。</p>
町	<p>東日本大震災がありました。町・市単位では対応できないところがあると思います。水道ですと、日本水道協会というものがありますので、そこに応援を要請する事になると思います。実際、東日本大震災のときも、全部の事業体に要請していたと思いますが、箱根町にも応援要請が日本水道協会からありました。そういう際には、大元である日本水道協会から応援を要請という形の対応という事になると思います。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>私の方からもう1点、運営方針で質問ですが、収益は前年並みですが、業務予定量を落としていますよね。その辺の相違というのはいかがですか。</p>
町	<p>平成23年度の決算額とほぼ同じにみているものですが、ただ、前年度の予算の際には、業務用が増加する予定でした。しかし、最近の動きを見る限り、業務用が増加する様子が見られないので、この程度の業務予定量ではないかと。ただ、少しでも景気が回復して観光客が増えると良いのですが、大涌谷の地震の影響で客足が落ち込むと使用水量が減ってしまいますので。</p>
会 長	<p>基本的には、平成23年度決算の数字を基本に積算したという事ですね。</p>
町	<p>そのとおりです。</p>
委 員	<p>営業費用 支出の原水浄水費、配水給水費にあります動力費ですが、現在、ガソリン燃料が上がっており、この先しばらくはこのような状態が続くと考えられるのですが、その辺は来年度の動力費に加味されて予</p>

	算をたてられているのでしょうか。
町	東京電力に契約内容を確認しまして、その分の動力費は増額しております。
町	増額はしていますが、様々な形で節電に努め、節約できるところは節約をしていくという考え方でおります。
会 長	次に議題4その他でございますが、町側から何かございますか。
町	特にありません。 (部長あいさつ)
司 会	次の協議会の開催は、7月頃を予定しております。